

保団連第 49 回定期大会 発言通告用紙

協会・医会名 千葉県保険医協会	氏 名 野崎 泰夫
文書発言	
発言テーマ	健康屋台での歯科相談活動や公民館での健康講話を中心とした地域住民への啓発活動の取り組み
<p>                     発言内容                      千葉協会の経年的な地域住民への医療啓発活動の取り組みを報告する。                      協会では、2017 年より千葉大学総合安全衛生管理機構、千葉アートネットワーク、UR 都市機構等と協力し、千葉大学サテライトキャンパスや団地の集会所で月 1 回行われている健康屋台で市民向けの歯科相談活動を行っている。                      歯科相談活動では、主に歯科に対する相談のほか、口臭測定器を用いた簡易口臭測定や唾液検査、カリオスタット検査を行っている。健康屋台では、歯科相談のほか、千葉大学の医師、看護師、保健師が中心となり、動脈硬化指数、肺年齢、血圧などの健康指標チェックや千葉大学園芸学部の協力のもとを出前園芸講座なども行っている。参加者の健康指標をチェックしたデータは「健康屋台カード」に蓄積され、医師だけでなく参加者自身もその場で閲覧できるようになっており、地域住民の憩いの場としても好評を得ている。今後は、千葉大学の健康指標データと協会で行っている歯科の検査データの共有化を図り、総合的なデータ管理をすることを検討している。                      また、協会には、8 つの支部と 4 つの地区があり、各地域公民館での健康講座に無料で医師、歯科医師を派遣し、健康講話活動も活動的に行っている。2019 年度は、現在までに 18 回行っており、テーマも生活習慣病や認知症、眼科疾患、骨粗しょう症の予防、お口の健康など多岐にわたっており、参加者から多くの質問が寄せられたりするなど、地域住民に医療に関心を持ってもらうだけでなく、医療制度や社会保障改悪に対する情報発信の場となっている。公民館に参加する市民に対して協会を知ってもらうだけでなく、ポケットティッシュや署名への協力にも応じてもらっており、是非、各協会・医会におかれましても、地域住民への啓発活動の取り組みを積極的に行っていただくようお願いしたい。                 </p>	